

3月は日本の暦では「弥生（やよい）」と言われますが、その由来は、暖かな陽気にすべての草木がいよいよ茂るといふ「弥生（いやおい）」がまつた言葉とされているようです。そして「弥」には「いよいよ、ますます」という意味があり、「生」には「草木が芽吹く」ことを表しているそうです。

この言葉通り、まだまだ寒さの残る秋田ですが、膨らみ始めた梅の花や少しずつ伸びる日脚など見ると「いよいよ」春がもうすぐそこまで来ている気配を感じますね！



近い将来「生成AI」が高校の科目に組み込まれるかも？

東京都の都立高校で、最新技術を学ぶ環境を整え、生徒の学習意欲向上とデジタル分野に精通した人材育成につなげることを目指し、「生成AI」を学ぶ科目の導入が検討されているそうです。東京都教育委員会は、「未来を生きる生徒が将来のキャリアの中で必要とする新たな学習」が必要だとしています。

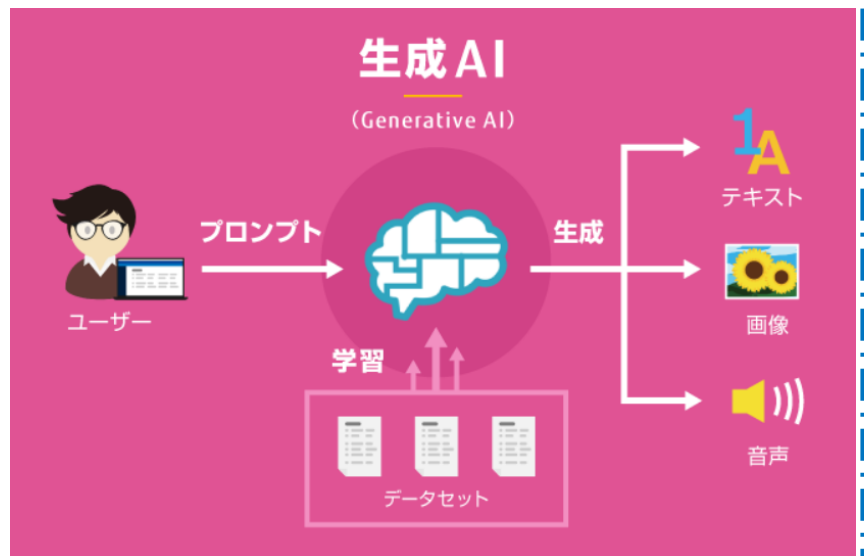
都立高校での導入が検討されている新分野の科目の例としては、「生成AI」や「ゲーム理論」「行動経済学」などがあげられています。

数年前に新設された「情報Ⅰ（情報の活用能力育成）」「情報Ⅱ（実践的な情報活用能力、問題解決能力育成）」の科目をさらに専門性を深掘りした科目として検討されており、東京都の取り組みが全国に波及する可能性は高いとみられています。

そういった動きの中、企業内の取り組みとして「生成AI」を活用していることが求人におけるアピールポイントの1つとなり得ます。

そこで「いま」の従業員がITに慣れ親しむ環境作りから始めてみませんか？

★ 是非、裏面のDX学校お問合せQRコードからお気軽にご相談ください ★



【ぷちパソコン塾】すぐ使える便利な機能紹介！



IT系営業マン推奨のパソコン（Windows）の便利な機能を紹介します。
便利機能を使いこなして作業効率アゲアゲです！（Windows11版）

■資料作成で絵を切り貼りする人には超便利！（続報）

「指定範囲のスクリーンショット撮影」

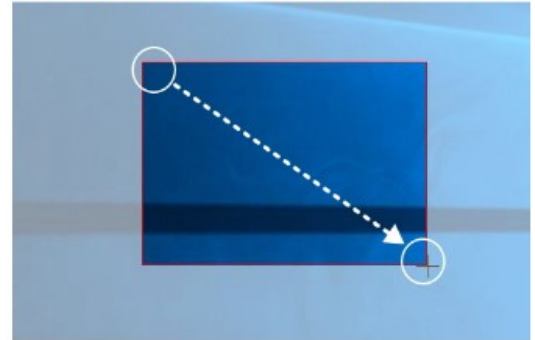
当記事については、以前（【Windowsキー】+【Shiftキー】+【Sキー】）も紹介した機能の続報です。**Windows11**の「Snipping Tool（画面全体や一部分の画像切り取り機能）」が進化しており、「PrintScreen」ボタンを押すだけで、切り取り開始の状態に移ります。

（※ツールや設定などで、PrintScreenボタン押下時に他の機能（印刷など）割り当てしないケース）

Windowsのアップデートで自動的に利用可能状態になるようですが、出来ない場合は以下の手順で確認してください。

1. 「スタートボタン」をクリック
2. 「設定（歯車）」をクリック
3. 左メニュー「アクセシビリティ」をクリック
4. 右側に表示された内容から「キーボード」をクリック
5. 「PrintScreenキーを使用して画面キャプチャを開く」の「オフ」をクリックして「オン」にします。

任意の場所をドラッグして切り取ります。



切り取った内容を画像として保存（クリップボード内）できるので、資料等に貼り付けると作業のスピード感がアップします！筆者は、切り取った画像を生成AIに取り込んで文字認識機能による二次利用をしたりしております。（問題画像を生成AIに回答してもらう事も可能です。）

また、画像だけではなく「動画」として保存する機能もあり、実際の操作内容を動きとして見せられるため、マニュアルなどの補足資料としての活用も有用に感じております。

社内に、
ITがわかる
人材を
育てましょう

“社内のIT人材育成”は、

【DX学校 秋田中央校】の弊社へご相談ください！

DX
学校



お問い合わせは
QRコードから



▼お問い合わせはこちらまで！▼

Tel:018-865-7400 Fax:018-865-7401

〒010-0948 秋田市川尻新川町9-35